

# 特集 教育で群馬に活力を!



## —— 群馬の未来を担う子どもたちの育成 ——

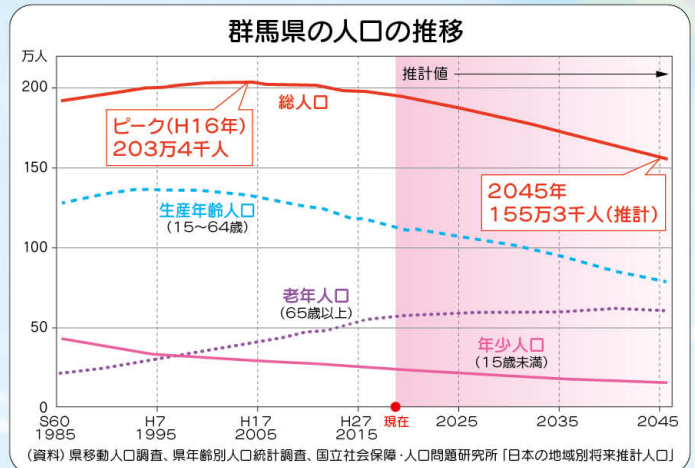
### どうなる群馬の将来!?

#### ● 群馬県も人口が減少しています

県の人口は、出生数の減少、進学・就職による若い人たちの転出などにより、平成16年をピークに減少しています。このまま人口の減少が進むと、地域の経済や社会を維持することが難しくなっていきます。

#### ● 未来を担う子どもたちの育成が大切です

これからの群馬県においては、無限の可能性を持つ子どもたちが、生まれ育った本県で地域を支え、経済・社会活動を支える人材として活躍する「人づくり」が大切です。



### 教育で群馬に活力をもたらすための2つのカギ

#### 1 「郷土への誇りと愛着」の育成

子どもたちに、将来も群馬県に住み続けたいと考えてもらうためには、「郷土への誇りと愛着」を持ってもらう必要があります。

進学・就職など自分の将来について考える際、「郷土への誇りと愛着」は大きな影響を与えるものであり、その時期までに育むことが大切です。そのためには、子どもの頃から、地域の優れた魅力に触れ、多くの学びや体験を重ねていくことが必要です。

#### 2 「キャリア教育」の充実

子どもたち一人一人が、社会的・職業的に自立するために必要な力(右表)を育てる教育を「キャリア教育」と言います。これらの力を小・中学校、高校の教育活動全体を通して、特別活動を中心にさまざまな教科の中で育んでいきます。

#### 群馬県の小・中学校における特色ある取り組み

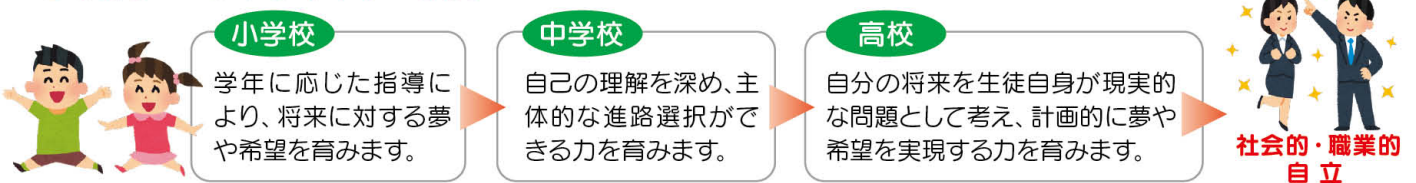
- ・上毛かるたの活用 ・尾瀬学校
- ・群馬交響楽団による移動音楽教室
- ・群馬県独自の教材の活用 (東国文化副読本、ぐんまの道徳、ぐんまが一番! など)



#### 社会的・職業的に自立するために必要な力の例

- ①人間関係形成・社会形成能力 (コミュニケーション能力など)
- ②自己理解・自己管理能力 (前向きに考える力、忍耐力など)
- ③課題対応能力 (課題発見、計画立案、実行力など)
- ④キャリアプランニング能力 (学ぶこと・働くことの意義の理解など)

#### 各学校段階におけるキャリア教育



#### コラム 1 群馬のことは大好きだけど...

平成27年に群馬県が実施した「高校生アンケート」によると、約8割が群馬県に定住したい気持ちがあるという結果でした。

その一方で、群馬県内の高校を卒業した生徒の5割強が大学や短大に進学し、その多くが東京など県外へ進学しています。そのうち、卒業時に群馬県に戻って就職するのは約3割にとどまっています。

「群馬県で住みたい・働きたい」という若い人たちの希望をいかに実現していくかが、群馬県の大きな課題となっています。

#### 県内からの大学・短大進学者の就職先 (イメージ図)



平成30年3月の県内高校卒業者をベースに県労働政策課推計(概数)